

# 中学校【社会科】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

岐阜教育事務所

## 1 主体的・対話的で深い学び（中学校学習指導要領解説 総則編 P78 一部抜粋）

- 「主体的な学び」… 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。
- 「対話的な学び」… 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。
- 「深い学び」… 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

## 2 中学校社会科における「社会的な見方・考え方」とは（中学校学習指導要領解説 社会編）

地理的分野における「社会的事象の地理的な見方・考え方」、歴史的分野における「社会的事象の歴史的な見方・考え方」、その上に立つ公民的分野における「現代社会の見方・考え方」の総称であり、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の「視点や方法（考え方）」。

## 3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善例

|      |   |  |  |   |
|------|---|--|--|---|
| つかむ  | <p>■<b>新たな社会的事象への気付き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容理解</li> <li>具体的な読み取り</li> </ul> <p>■<b>問いの設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疑問や矛盾の位置付け</li> </ul>   | <p>【主体的な学び】</p> <p>■<b>社会的事象に対して問いを設定する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事実の把握や既習との関連化を促す。</li> <li>疑問や矛盾を出し合ったり、発問をしたりして課題意識を喚起する。</li> </ul>  | <p>【対話的な学び】</p> <p>■<b>事象や仲間の発言からの考えを伝える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習や他者の知識に関連付けて事象を捉える姿を価値付ける。</li> <li>各自の疑問を共有できるようにする。</li> </ul>  | <p>【深い学び】</p> <p>■<b>事象を既習や経験と関連付ける。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習や生徒同士の発言の共通点や相違点に注目して捉えるよう促す。</li> <li>自ら疑問を学習課題として設定する。</li> </ul>   |
| 深める  | <p>■<b>予想と見通し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠ある予想</li> <li>予想を検証する追究の視点</li> </ul> <p>■<b>個人で追究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料からの論理的なまとめ</li> <li>事実の比較・関連・総合</li> </ul> <p>■<b>仲間と追究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多面的・多角的に考える</li> <li>解決の視点や価値の明確化</li> </ul> <p>■<b>認識の広がりや深まり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習との関連</li> <li>新たな視点の資料</li> <li>新たな視点で考える生徒の位置付け</li> </ul> | <p>社会的事象を既習の知識や概念と関連付け、認識のズレや<b>新たな問い、驚き・感動、社会に見られる課題</b>などから学習課題を設定する。</p>  |  |   |
| まとめる | <p>■<b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対するまとめ</li> <li>生活や生き方との関連</li> <li>学び方の振り返りと次時への見直し</li> </ul>  | <p>■<b>課題解決の見通しをもてるようにする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠立てた予想を、視点別に整理する。</li> <li>追究の視点や必要な情報を明らかにしたりする。</li> </ul> <p>■<b>事実の具体化・関連化を図られるようにする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事実を課題解決につなげている姿を価値付ける。</li> <li>複数の事実から追究する姿を価値付ける。</li> </ul> <p>■<b>内容を関連付け、関係性・努力や工夫・願い・価値を見出す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問い返しや補助発問から発言内容を具体化する。</li> <li>学習課題について明らかとなった事実を位置付け、さらに問いを深める。</li> </ul> <p>■<b>内容と学び方を振り返り、社会につないでまとめる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの生活や社会生活につなげるよう促す。</li> <li>学習を振り返り、成果を吟味したり、新たな問いを明確にしたりする。</li> </ul> | <p>■<b>既習や経験、視点を共有する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容や生活経験を振り返る。</li> </ul> <p>■<b>調べ方やまとめ方など学び方を示す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から自己の考えを広げ深める学び方を示す。</li> <li>自身の認識や経験を踏まえる姿を価値付ける。</li> <li>実社会で働く人や先哲の言葉などから、願いを捉える活動を位置付ける。</li> <li>発言に対して、具体性を求めるよう問い返す。</li> </ul> <p>■<b>意図を明確にして、話し合いや討論などの対話を位置付ける。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒と関連付けて考えるよう促す。</li> <li>多様な視点から社会的事象の特色や意味などを多角的に考えるよう促す。</li> <li>判断基準を明確化し、相互の理解を踏まえた意思決定を促す。</li> <li>協働的な学習による認識の深まりを顕在化する。</li> </ul> | <p>■<b>社会的な見方・考え方を働かせて事象を捉える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の知識、概念や技能の活用を価値付ける。</li> <li>位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互の関連に着目するなど、社会的な見方・考え方を働かせている姿を価値付ける。</li> <li>社会的事象の関係性を明確にする。</li> </ul> <p>■<b>知識・認識の広がりや深まりを明確にする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多面的・多角的な考察や選択・判断（構想）する場を位置付ける。</li> <li>学習の深化や転用、社会参画につながる問いを設定する。</li> <li>知識を相互に関連付けて概念を明らかにする。</li> </ul> <p>■<b>単元の問いにつなげて考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の内容（具体的知識）と単元に関連する内容（中心概念）の明確化。</li> </ul> |

「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養

